

発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101
〒160-0017
社団法人 大学婦人協会
電話 03-3358-2882
FAX 03-3358-2889
http://www.jauw.org
E-mail:jauw@jauw.org
発行人 今井 けい
編集責任者 松本 佳子

J A U W

おもな記事

- 1面 会長、日本・中東女性交流、IFUWの活動、中東訪問団報告会、募金中間報告
- 2面 新春のつどい・自然科学講演会のお知らせ、国際奨学生、ジェンダーフォーラム、サロンJ、新入会員、理事会から

JAUWとえがりてネットワーク

会長 今井 けい

JAUWは内閣府の男女共同参画推進連携会議(えがりてネットワーク)の議員として活動していますが、8月の第19回全体会議では、男女共同参画基本計画の平成18年度以降における施策の検討がありました。

「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」については、2020年までに30%にするという具体的な数値目標が掲げられて一歩前進でした。「仕事と家庭・地域生活の両立と働き方の見直し」では、短時間正社員の実現、とくに公務員について短時間勤務制度の導入を早期に検討することが提案され、その実現が待たれます。公務での労働時間短縮は、やがて企業にも広がるからです。

IFUWでの取り組みは昨年、同社最高顧問から報告がありました。JAUWの平等への取り組みについても内閣府に報告しなければなりません。奨学金事業や全国セミナー(今年の中東女性交流)は、女性への高等教育の普及、平等思想や慣行の、全国への普及や実践という意味で、地味ではありますが、重要な活動です。これらを充実させるために、皆様とともにいっそう努力を重ねて参りたいと思っております。

奨学金事業60年のともしびを消さないために!

「国内奨学金資金」設立のための募金活動が2005年6月に開始され、そろそろ5カ月になろうとしています。今までにご寄付をお寄せくださいました皆様、本当にありがとうございます。発起人一同心から感謝申し上げます。皆様の温かいご協力により、現在の募金高は6,911,000円(10月17日現在)となっており、目標額の1,000万円達成まで、あと3,089,000円です。また、現在までの募金者数は355名ですが、もしかしらまだお忘れの方がいらっしゃるのではないかと、再度の振込用紙をこの会報とともに同封いたしました。既に募金を済まされた方には、ご容赦いただければ幸いです。

1946年に大学婦人協会が設立され、翌年に奨学金委員会が発足して以来約60年間、脈々と続いてきた、当協会の根幹をなすこの奨学金事業のともしびを消すことのないように、会員の皆様の更なるご協力を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

副会長(募金担当) 柳原由美子

IFUWの活動・連帯・希望

～最近のニュースを国際委員会の翻訳・編集でお届けします～

ユネスコへの協力

IFUWは、UNESCOを助けるシンクタンクの一員として活動しています。UNESCOのNGO連絡委員長をつとめるIFUWのフランソワーズ・ソヴァージュは、今は高等教育にとって難しい時期だと述べています。変化の必要、新技術への適応、特に公共部門での資源の枯渇が見通しのなさや混乱を引き起こし、「持続的な発展」が目ざされる一方で、高等教育は政治的意思決定者たちのあいだで重みを失いつつあるようです。しかし高等教育は国を治める人々を世に送り、教師たちを養成し、それによってあらゆるレベルでの、生涯を通じての教育の質を保証しており、研究は革新を生み出します。本年4月のユネスコ本部でのNGO会議でも、このような視点からIFUWは積極的な役割を果たしました。IFUWのシンシア・ゴラ・ゴビンは、持続的な発展のための高等教育に関するワークショップの座長を務め、政府、UNESCOおよびNGOに、高等教育が持続的な発展と密接な関係にあることを認識させました。

提唱活動(アドヴォカシー)

今年7月、ソウルの梨花女子大学を主会場として開かれた世界女性学大会=ウィメンズ・ワールドにおいてIFUWは2つのパネルディスカッションを開きました。そのひとつ「知識基盤社会における変革の担い手としての女性」では、韓国協会のキム会長のほか、藤村久美子会員が登壇。会議には世界70カ国以上から約2千人が参集し、「世界を抱きしめて」のテーマのもと、多くの分野で意見交換が活発に行われました。

ケニオン会長の手紙から

IFUWには幾つもの事業や企画があり、それによって私たちがのびのびと活動でき、世界をより良い場所にしようとしています。皆で参加し、各人が友好、連帯、援助に貢献するよう、自分の出来ることをしてみようではありませんか。

ワシントンDCでのAAUW総会では、…最終的にAAUW理事会からの提案である、AAUWのIFUWからの脱退を可能にする定款改定が否決されました。私は今AAUWの新会長ルース・スウィーツァーとやりとりしながら両者の財務上の相違点について何が出来るかを探ろうとしています。IFUWはお金が不足していますが、各国協会の多くも同じで、AAUWだけではないのです。

IFUW事務局の再編成はほとんど決定しています。人員は4名に減りますが、この4名でフルタイム職員3人分相当の仕事をするようになります。仕事内容を再評価・再編成しなければなりません。もっと多くの人とアイデアが必要です。どうぞお知らせください。(05年9月)

スリランカへの義援金

昨年末の大津波によるスリランカの被災世帯は19万戸以上。スリランカ大学婦人協会は5棟の被災者住宅を計画し、JAUWの「新春のつどい」での義援金が1棟分をまかしました。先月末、礼状と写真が届きました。(右、完成したシェルター)



宝飾品(女性の種)に職能を記したプレートがある

第29回IFUW総会

あなたも参加しませんか。場所はイギリスのマンチェスター、日程は2007年8月10日から16日までです。英国協会の100周年もいっしょにお祝いしましょう。

「学際セミナー」発表者募集

上記マンチェスター総会で。会員・非会員を問いません。論文テーマを「国連ミレニアム開発目標」とし、IFUWの行動計画である「変革の担い手としての女性」が取り上げる3領域「教育」「情報社会」「人間の安全と平和」に関するものとします。英文要旨の締め切りが11月末に迫っています。興味のある方は至急、下記のサイトまたはJAUW本部に詳細を問い合わせ下さい。

http://www.ifuw.org/ifuw2007/seminars/call.htm

(文責: 穂田 信子)

JAUWのメールアドレス変更:jauw@jauw.org 従来のアドレスでもアクセス可。

日本・ヨルダン・エジプト・パレスチナ女性交流の目指すもの

副会長 田中 正子

これまで約10年間続いていた日本・ヨルダン・エジプト・パレスチナ女性交流(日本・中東女性交流)も今年度は大学婦人協会が担当団体として、訪問事業(第16回)、招聘事業(第17回)を行う。外務省の予算削減のありを受け、訪問、招聘とも3名に半減して大変残念であるが、東京地区、関西地区とも事前の学習会が活発に行われており、実り豊かな交流が期待される。訪問事業については、青木 悦子(国連NGO国内婦人委員会・訪問団長)、田中正子、穂田信子(以上JAUW)の3名が11月6日から14日まで、ヨルダン・パレスチナ(西岸)・エジプトを訪問する。11月1日には、外務省で杉山晋輔参事官(中東担当)および経済協力局国際開発協力第2課山本英昭課長補佐と、訪問にあたっての意見交換を行った。



田中副会長(左)と阿部国際奨学金委員長から奨学金を贈呈される国際奨学生レグミさん 9月20日(2面)

今回の交流のテーマは、「女性のエンパワメントに向けて—技術・職業教育—」である。ジェンダー平等社会の実現には、女性が様々な分野の政策決定の場へ参画することが不可欠で、この点では、日本(東)では、社会的、文化的、宗教的背景が異なるとはいえ、どちらも世界的に遅れている。また、女性の就労についてみると、日本はM字型に象徴されるように子育て期を乗り切ることが大きな課題であるが、中東諸国では一般女性の就労率はまだ低く、貧困から解放されることが課題である。

訪問団では「日本における政策決定の場への女性の進出」(青木)、「横浜女性フォーラムにおける女性の就労支援事業」(田中)、「日本の学校教育におけるICT教育」(穂田)についてそれぞれ紹介し、意見を交換、女性のエンパワメントに向けて教育(学校教育を含む)がどのような考え方のもとで行われているのか、課題を明らかにし、共有することを目指している。

最近、日本政府は、拡大中東・北アフリカ(BMENA)諸国への開発援助に力を入れており、9月末には、ヨルダン政府との共催、JICAの協力で、域内の政策立案者を対象に「G8 BMENA職業訓練ワークショップ」をアンマンで開催したばかりである。杉山参事官は、BMENA諸国への開発援助を女性の視点でとらえる事が重要で、そのための提言を期待しているとのことであった。

招聘事業では2カ国1地域から各1名の女性代表が来日、2006年2月11日(土)から約1週間滞在して、東京および岡山市でのシンポジウムで意見交換を行う。東京での事業は、本部企画委員会(委員長田中正子)、実行委員会(委員長柳原由美子副会長)が担当、岡山市での事業は、岡山支部(支部長岡崎優子、実行委員長早津聡子)が担当する。大学婦人協会では、この事業をこれまでの全国セミナーに準じて、全国会員に関心を持っていただき、参加できる事業になるよう、岡山支部とも連絡をとりながら進めている。

「シンポジウム開催要領および参加申し込み」をこの会報とともにお届けするのでご一読ください。

中東訪問団報告会のお知らせ

11月6日から14日まで、来年2月の招聘事業に先駆けて、日本からの訪問団(青木悦子団長、田中正子副会長、穂田信子国際委員長)が、ヨルダン・エジプト・パレスチナを訪れました(アンマン滞在中の9日に、同時爆弾テロが発生)。3人をお迎えし、お話をうかがいます。ふるってご参加ください。

日時 12月24日(土) 1時〜4時30分
場所 津田塾同窓会会議室
参加費 千円 お茶代千円
申込み JAUW事務局 03-3358-2882
tel 03-3358-2882
fax 03-3358-2889
国内NGO委員会

JAUW新春のつどい

恒例「新春のつどい」を下記のように開催いたします。みなさまお誘い合わせの上お一人でも多くご参加くださいますよう、お待ち申し上げます。奨学生を祝い、食事に懇談に楽しいひと時を過ごしましょう。

記

日時 2006年1月7日(土) 11:00~14:00

場所 京王プラザホテル 南館4F 「扇の間」

TEL: 03-3344-0111

第1部 国内奨学金贈呈式 (国内奨学委員会、社会福祉委員会、東京支部 共催)

第2部 バイオリンとピアノのデュオコンサート
バイオリン: 穎川晴子氏 ピアノ: 佐藤千佳氏
曲目 シューベルト: バイオリンとピアノのためのソナチネ ニ長調
クライスラー: バイオリンのための小品 他

第3部 懇親会 (食事と懇談)

会費 10,000円

申込先 (社)大学婦人協会本部事務所

Tel: 03-3358-2882 Fax: 03-3358-2889

締切日 2005年12月16日(金)

振込先 東京三菱銀行四谷支店

普通預金・口座番号 1077777

別口 (社)大学婦人協会 理事 今井 けい

*財務委員会のバザーを行います。寄贈品のご協力とお買い物のご協力をお願い申し上げます。 財務委員会

第5回自然科学講演会のお知らせ

「創業基礎科学にむけた有機化学」
—「くすり」はどのように創られるのか—

講師 中川 昌子 (科学研究奨励委員)

千葉大学元教授・神奈川大学専任教授・薬学博士

日時 12月10日(土) 14:00~16:00

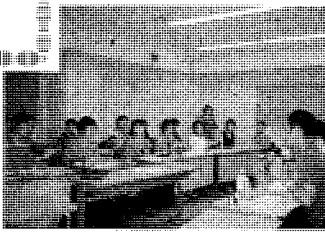
場所 お茶の水女子大学理学部3号館2F 会議室

申し込み 12月7日(水)までにJAUW事務所へ。

皆様のご参加をお待ちしています。会員以外の方もどうぞ。

科学研究奨励委員会

(東京支部・お茶の水女子大学と共催)



ワークショップ風景 8月27日

愛知支部からお借りした、IFUWのロゴ入り、のそろいのTシャツを着た私たちのワークショップは大盛況で、男性も参加しました。

この日は、今井会長はじめ元会長、東京・神奈川支部の多くの会員が出席し、お茶をいただきながら、たくさん質問が出されました。お話の内容をご希望の方は、女性の地位委員会にご連絡ください。



房野さん(前列左から3)を囲んで

国際奨学生レグミさんの研究報告会

テーマ: 気候変動への適応とジェンダー
日時: 12月6日(火) 1時30分~4時
場所: JAUW会議室
会費: 500円
昼食会(JALシティで11時半から): 1500円
申込: 11月28日(月)までに、事務局へ。

ネパールと日本のジェンダーについて話し合います。ふるってご参加ください。(通訳あり)

中東女性交流勉強会

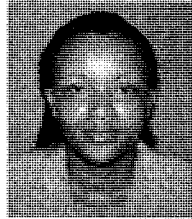
10月24日、「イスラム教と女性の自立」(塩尻和子氏)の講演が東京支部との共催で行われ、46名が出席しました。

新入会員 (25名) 2005年7月~11月 理事会承認

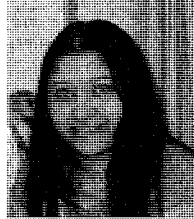
茨城支部 川上美智子(茶・院) 藤井美治子(大阪)	神戸支部 石井格子(聖) 桂美穂子(奈女)
長野支部 前田重紀子(実・院)	曾我邦子(神市外) 東島宏子(南山)
東京支部 糸多郁子(津・院) 稲田美江(大女)	山根宏子(京女) 永丘恵子(関学・東英院)
冠木敦子(慶・院) 紅林みのり(大女)	岡山支部 中桐美和子(ノ清) 堀家正子(茶)
土信田純子(共女・院) 中村昌美(慶・院)	福岡支部 桑原洋子(同女) 田村三恵子(西南)
沼上芳子(実)	山下征子(西南)
愛知支部 伴紀子(南山)	大分支部 大西御代(昭女) 長尾珠江(昭女)
大阪支部 貴島裕子(大女)	

2005年度国際奨学生

サブリーナ・レグミさん(ネパール)
マダレーナ・ムテンガさん(タンザニア)



ムテンガさん



レグミさん

レグミさんは、9月20日に来日し、3カ月の予定で神奈川県、葉山の湘南国際村にある(財)地球環境戦略研究機関で調査研究をしています。彼女は、フィリピン大学で社会学のMAを取得後、ネパールのルーラル・コミュニティの開発に関する研究・調査サービスをを行うNGOに所属し、調査活動に従事している若手の研究者です。ネパール

た。ネパールでは井戸汲みは女性の仕事、それゆえ早くに腰が曲がり老人になってしまおうとのこと。これまでの国際奨学生の中で最も若い彼女は、長旅の疲れも見せず、流暢な英語と学習中の日本語も駆使して、ネパールの女性問題について熱心に語ってくれました。ムテンガさんは、タンザニアの政府機関で上席研究員(化学)を務め、河川などの水質汚染とくに化学物質汚染の調査や、その改善指導を行っています。12月1日に来日し、京都大学大学院の松井三郎教授の指導のもと、タンザニアの繊維産業(環境ホルモン)の検出と対策について研究を行う予定です。

レグミさんの報告会

12月帰国の前に報告会を開きます。詳細(下段)をご覧ください。

NWECジェンダーフォーラムとサロンJ(房野様を囲んで)

女性の地位委員長 増淵民子

8月26日、28日、国立女性教育会館で、例年のように、「男女共同参画のための女性学・ジェンダー研究交流フォーラム」が開催され、女性の地位委員会・国内NGO委員会・静岡支部が「女性の新しい働き方をめぐって」IT企業・SOHOで働く女性はGEMを上昇させるか?」のテーマでワークショップを運営しました。内容は3グループがそれぞれセミナーで研究発表したものをリニューアルしたものでした。同フォーラムに



ワークショップ参加者

加し好評でした。今年の企画委員長は青木怜子元会長で、オープニングでの格調高い基調講演は満場を魅了しました。JAUWからは、3グループのほかに、東京、神奈川、長野支部から数名が参加しました。

サロンJは、10月14日、会員委員会・女性の地位委員会が合同で、3月までIFUW女性の地位委員として、また、数々の国際会議でご活躍の神奈川支部の房野桂子さんを招き、「国連とNGO」のお話を伺いました。数々の国連での会議、国際会議、IFUWのことを伺うには十分な時間はありません。3月に出席された国連での「北京+10」は、既に、数カ所で講演、執筆をしておられるので、8月末の北京でのNGO会議、9月の国連での「第58回DPI/NGO会議」のお話を主に伺いました。

<理事会から>

- 9月5日、内閣府「男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰」が行われ、青木怜子元会長(大学婦人協会が推薦)と江尻美穂子会員(東京支部)のお二人が表彰されました。この表彰は、1985年から10年ごとに行われ、今年は3回目です。
- 「国内奨学金資金設立のための募金趣意書」の発起人欄に、野崎方子様の名前が入っていませんでした。荻原ノリ子様は、荻原ノリ子様の誤りでした。お詫びして訂正いたします。
- 2005年度国内奨学生・社会福祉奨学生決まる。奨学金贈呈式は、来春1月7日の新春のつどいで。
- 丸大食品のカタログを同封いたしました。売り上げの一部は本部会計に入り、活動費に還元されます。ご協力いただければ幸いです。
- パース総会のビデオ

昨年夏のパースでのIFUW総会の模様が、大谷国際委員の手で約1時間のビデオ・DVDに編集されました。開会演説、基調講演、議事、セミナー、ワークショップなどが開会式の音楽とともに蘇ります。貸し出し希望の方は本部にご連絡ください。

om 丸大食品 **心に残る贈り物**

丸大のギフトは、どなたにも喜ばれます

お中元・お歳暮の時期のほか、記念品・新築祝・開店祝・御礼・内祝・快気祝等、いつでもご利用になれます。

特別価格にてご奉仕致します

丸大食品株式会社
関東特販営業部 三宅
〒135-0051 東京都江東区枝川2-23-2
TEL 03(3647)3270 FAX 03(3647)3274

たっぷりの時間をかけて熟成させた最高級ハムギフト

★パソコン講習会のお誘い
興味のある方、初めての方もぜひ！
お問い合わせは、本部事務所か委員会まで。
(情報委員会)